

1 2 情報化の状況 1 コンピュータの処理業務

区 分		新居浜市	別子山村
電算開始年月		S44.1	
利用形態(運営)		単独導入	
オンラインシステム		汎用コンピューター クライアントサーバー	
端末機の台数		114	
統合型GIS(汎用情報システム)の導入			
ネットワーク台数			
パーソナル・コンピュータ(対ホスト)		114	
パーソナル・コンピュータ(対パーソナル)		878	
住民記録	住民記録	○	
	戸籍附票	○	
	外国人登録	○	
	印鑑登録	○	
	住登以外	○	
住民記録利用業務	選挙	○	
	各種予防接種	○	
	学齢簿	○	
	就園奨励	○	
	児童・生徒健康診断	○	
	成人式	○	
	保育	○	
住民記録結合業務	市民税(普徴)	○	
	市民税(特徴)	○	
	課税状況調	○	
	軽自動車税	○	
	法人市民税	○	
	固定資産税	○	○
	償却資産税	○	
	収納消込	○	
	納税組合	○	
住民記録結合業務	口座振替	○	
	福祉手当	○	
	重心医療	○	
	老人入所	○	
	在宅福祉台帳	○	
	児童手当	○	
	母子・乳幼児医療	○	
	国民健康保険	○	
	レセプト審査	○	
	老人医療	○	
	国民年金	○	
	下水道受益者負担	○	
	水道料金	○	
	農家台帳	○	
	住宅使用料	○	
介護保険	○		
単独業務	給与・人事	○	
	予算書作成	○	
	財務会計	○	
	住宅資金償還業務	×	

現状

新居浜市においては、住民記録業務から、税関係、各種徴収業務、給与、人事、財務会計まで、汎用コンピューター、パソコンによるネットワーク化を図っている。

別子山村においては、固定資産税のデータのみ電算処理化している。

課題

別子山村の事務を新居浜市の現システムへの移行する上でのデータ切り替え時期等

別子山村との接続方法（公衆回線を使うなら、セキュリティの確保をどうするか。）

財務会計システムにおける証憑の流れ

端末等故障時の対応

効果

別子山村における事務処理の電算化による効率化

2 O A 化の状況

新居浜市

新居浜市テレトピア計画に基づき、「人と地域が輝く情報ネットワーク都市」を目標に、新居浜市内の地域情報化を進めている。

行政の情報化

行政内部の情報化を推進し、行政サービス水準の高度化、行政事務処理の効率化等により、市民への情報サービスの充実及び都市機能の強化を図るための行政情報ネットワークシステムを構築する。

平成12年5月から庁内LANによる全庁的なネットワークシステムを稼働情報の共有化を行うとともに、研修部門との連携により継続的なOA研修を実施し、広く職員にOA感覚、OA意識を持たせるよう、その推進を図っている。

インターネットの導入

新居浜市のホームページを開設し、平成8年5月31日からインターネットへ

接続し情報発信を行っている。内容については、行政情報のほか地域の個性
的な情報を発信し、電子メールでの情報交流にも活用されている。現在、各
課1ホームページを作成し、積極的な行政情報の提供につとめるとともに全
職員にメールアドレスを割り振り迅速な情報交換の体制を整備している。

別子山村

行政の情報化

行政内部の情報化を推進し、行政サービス水準の高度化、行政事務処理の
効率化等を図る。

庁内LANによる全庁的なネットワークシステムを稼働。

現状

新居浜市においては、行政情報ネットワークシステムを推進するため、庁
内

LANの構築、ホームページの開設を行うとともに、OA研修による職員の
資質向上に努めている。

別子山村においては、庁内LANによるネットワークシステムを稼働して
いる。

課題

新居浜市の現行ネットワークシステムに整合させる形での整備を順次進め
る

効果

域内の情報伝達システムの構築が図れる。

3 地域の情報化

新居浜市

新居浜テレビネットワーク株式会社

平成2年9月1日、テレトピア計画の主要なメディアのひとつである都市型CA

TVとして「NTN」の愛称で開局した。以後、市内域でサービスエリア（対象区域）を順調に広げ、現在、新居浜・金子・宮西・金栄・惣開・若宮・泉川・中萩・角野・大生院・船木・高津・垣生・浮島・神郷・多喜浜の16校区におよび、加入世帯は13,183世帯(平成13年3月末現在)となっている。また、チャンネル数も順次増加し、現在42チャンネル（チャンネルガイドを除く）の番組を提供している。

NTNの自主制作番組は3チャンネルであり、「NTNニュースチャンネル」では毎日市内の出来事や話題を提供、「広報チャンネル」では市役所をはじめ官公庁からのお知らせや行政の仕組み等をわかりやすく提供、「コミュニケーションチャンネル」では、スポーツ大会、運動会、音楽会、講演会をはじめ地域の伝統行事や催し物など、市民の方々が出演し、作る、市民のためのチャンネルとしてコミュニティーの向上が図られている。

新居浜テレコムプラザ

全国で5番目、四国で初めての民活法に基づく電気通信高度化基盤施設で、本市の情報化を推進するため、ニューメディアや情報通信システムに慣れ親しむためのデモンストレーションの「場」、情報関連の人材を育てていくための「場」、データベースを構築し、これを地域に根づかせていくための事業展開の「場」を提供するため、本市も出資した第三セクターの新居浜テレコムプラザ株式会社により建設された。

別子山村

過疎地域であっても情報化に遅れをとらないよう必要に応じ計画的に整備する。

現状

新居浜市においては、テレトピア計画に基づき、CATVを設立し、13,000を越える加入世帯と順調に事業進捗を図り、市内の出来事をはじめ、行政情報を発信し、コミュニティーの向上に寄与している。また、ニューメディア

や情報通信システムに市民が親しむ拠点施設として、第3セクターで新居浜テレコムプラザを設立、運営している。

具体的な施設、設備については未整備

課題

地理的、地形的制約から、個別整備を検討する。

効果

ネットワーク化を図ることにより、地域的な情報格差を是正する。

4 学校のO A化

小学校のコンピュータ整備

		新居浜市		別子山村
		1校あたり	総数	1校あたり
職員室		1	17	1
コンピュータ ルーム	教師用	1	17	
	サーバー	1	17	
	児童用	10	164	3
	1台あたり児童数 (クラス平均)	2.94		1.17
インターネット接続		全機接続		全機接続

中学校のコンピュータ整備

		新居浜市		別子山村
		1校あたり	総数	1校あたり
職員室		1	10	1
コンピュータ ルーム	教師用	1	10	
	サーバー	1	10	
	児童用	40	400	4
	1台あたり児童数 (クラス平均)	0.80		1.38
インターネット接続		全機接続		全機接続

現状

新居浜市の小中学校では、クライアントサーバー方式で、全機インターネット接続可となっている。別子山村の小中学校ではスタンドアロンで全機インターネット接続可となっている。

小学校では、新居浜市は児童3人に1台、別子山村では教師分を除くと2

人に1台。中学校では、新居浜市は平均すると1人1台、別子山村は教師分を除くと2人に1台。

課題

新居浜市では、小学校において1人1台が望まれる。

別子山村では、児童生徒数が少なく、減少傾向にあるが、1人1台の整備が望まれる。